

食育

食文化・感謝

授業アイデア例

中学3年 食品ロス削減を考えよう

食べ物を無駄なく大切に消費するには、どうしたらよいか考えよう

食品ロスを減らし、食べ物を無駄なく大切に消費するにはどうしたらよいか考え、実践しようとする授業展開例を紹介します。

題材名

私が考える食品ロス削減大作戦

指導のヒント

- 年間捨てられている食料クイズでは、カードに掲示し拳手をさせる。その時クイズの選択肢について想像しやすい例を換算して示す。
- たくさん残った日の給食を写真に撮り、何人分残ったかを計量しておく、残菜の量が分かりやすい。
- グループ活動では、話し合いが活発に行えるように、話し合いの方法を工夫する。

ポイント

食品ロスについて多面から考えることができるように、いろいろな角度から、例をあげる。

展開

ポイント

机間指導において、買い方 食べ方 表示の見方など、考え方の視点を示す。

- 買い方の工夫。
(食材を買いすぎず、使いきる。又は食べきる。)
- 残った食材は他の料理に活用。
- 「消費期限」「賞味期限」の違い。
- 外食。
 - 小盛メニューの利用。
 - 少なめにする。
 - 食べきれないセットメニューは頼まない。

私たちが考える食品ロス削減大作戦を発表しましょう。

- 黒板に班で考えたことを貼り、1班から発表させる。

導入

日本で年間捨てられている食料はどのくらい知っていますか？

- クイズをして食品ロスについて知らせる。
 - 約6万トン
 - 約60万トン
 - 約600万トン
 答え ③ 約600万トン 1人1日お茶碗約1杯捨てている計算
(政府広報オンラインHPより)

例 量でいうと25mプール10,000個分

- 飢餓の写真を活用して、開発途上国では食べるものが無く死んでいく子供たちがいることを知らせる。
- 日本の食料自給率は39%で、大半を輸入に頼っていることを知らせる。
- 給食の残量を写真で見せる。

展開

食料を無駄にしないためにはどうしたらよいか考えましょう。

- 食品ロスを削減するための工夫をグループで考えて、発表させる。
- グループに分かれワークシートに削減の工夫を書かせる。

終末

- 食品ロスを減らすために、私ができることをワークシートに記入しましょう。
- 食品ロスを減らすために、自分ができることをワークシートに書かせる。

評価

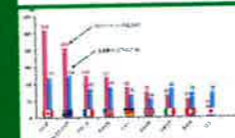
食品ロスを理解し、食料を無駄にしないために、自分で工夫し、実行しようとすることができる。(ワークシート)

板書例

課題 私が考える食品ロス削減大作戦

飢餓の写真

食料自給率の比較



給食の食べ残し

給食食べ残しの写真

食料を無駄にしないためにはどうしたらよいか

- ・ 買すぎない
- ・ 食べきれない量だけ作る
- ・
- ・

食品ロス削減大作戦

1班

2班

各班のミニホワイトボード

まとめ

私が考える食品ロス削減とは

給食時間での指導

好き嫌いしないことや、自分の適量を知って残さず食べることが、食品ロス削減につながることを話す。

家庭との連携

学習したことを食育だより等で知らせ、食品ロス削減について、はたらきかける。

ワークシートに記入する項目例

- 食品ロスを削減するための工夫
- 食品ロス削減大作戦
- 私ができる食品ロス削減の方法

資料

- 「食品ロス」を減らそう (政府広報オンライン)
- クイズカード
- 飢餓の写真
- 給食食べ残しの写真
- ミニホワイトボード
- 食料自給率の比較と推移のグラフ (農林水産省HP)

他教科等との関連

- 技術・家庭「食生活と自立」(開隆堂)

本授業について

日本では毎日1人お茶碗1杯分の食料が捨てられていることを知らせると同時に、開発途上国では、餓死していき子供がたくさんいることを知らせます。

自分が生まれた環境にいることを認識し、食べ物を無駄にしないためにどうすればよいか、食品ロス削減につながることを考えさせる授業です。